

科目名	日本国憲法	
担当者	長谷川 史明 / HASEGAWA, Fumiaki	
科目情報	教養科目2群 / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 憲法 の概念及び意義</li> <li>② 日本国憲法の制定過程における問題点</li> <li>③ 日本国憲法の主な内容（主要な憲法判例の解説を含む）</li> </ul>
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 憲法（constitution）の意味について理解する</li> <li>② 日本国憲法の制定過程について理解する</li> <li>③ 日本国憲法の主な内容について知識を深める（特に主要な憲法判例を知る）</li> </ul>
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) この講義の概要説明</li> <li>(2) 規範と事実</li> <li>(3) 「憲法」（constitution）とはなにか</li> <li>(4) 立憲主義と法の支配</li> <li>(5) 西洋における近代的憲法の成立</li> <li>(6) 近代的憲法の日本における受容（大日本帝国憲法の意義）</li> <li>(7) 日本国憲法の制定過程</li> <li>(8) マッカーサー草案</li> <li>(9) 統治機構総論</li> <li>(10) 国会・内閣・裁判所</li> <li>(11) 国民の基本権総論</li> <li>(12) 自由権的基本権</li> <li>(13) 社会権的基本権</li> <li>(14) 日本国憲法に関する重要な判例</li> <li>(15) 総まとめ</li> </ul>	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や配布したプリントを前もって読んでおくこと。</li> <li>・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。</li> </ul>
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>※事前・事後学習としては、1回の講義につき、約4時間読書することを標準とします。詳細は講義時間に説明します。</li> </ul>
使用教材・参考文献	<p>【教】三好・鈴木・長谷川『テキストブック憲法』（嵯峨野書院、2012年）</p> <p>【参】講義時間中に紹介・説明する。</p>	
成績評価方法と基準	<p>試験、講義時間中に行う小テスト、提出物等を総合的に勘案して評価する。大卒程度公務員試験の教養試験レベルの内容理解に達しているかどうかを評価の基準とする。評価方法及び評価基準の詳細は、講義において説明する。</p>	
備考	<p>小学校から高等学校までに習得した憲法に関する基礎知識を前提に講義を行うので、受講者は復習しておくこと。</p> <p>教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。</p>	